

令和4年度外部評価報告書

令和 6(2024)年 3 月
十文字学園女子大学

はじめに

十文字学園女子大学では、中期目標・中期計画及び年度計画を策定し、これを自己点検・評価の基準として、毎年自己点検・評価を行うこととしています。この点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、大学評価ならびに高等教育の在り方について高い見識をお持ちの産官民学各分野の有識者に外部評価委員へご就任いただき、本学の教育研究及び社会貢献活動全般への助言をいただいています。

令和5年度は、令和2年度にスタートした3学部体制の完成年度であります。ここまでの教育活動をふまえ、さらに時代に即した大学となるよう、教育等に関する改革の一段階として三つのポリシーの見直しを行いました。「建学の精神」を具体化し、対自己・対人・対課題の三つの観点を付加した内容に変更し、これに合わせてカリキュラムも学生にとって魅力ある内容となるよう調整を行っております。

学校法人十文字学園は、令和4年度に学園創立100周年を迎え、大正、昭和、平成、そして令和と時代とともに歩んでまいりました。今後も不断の改善の取り組みを続け、新たな100年に向け着実に一步一步を踏み出していきたいと思っております。

外部評価委員のみなさまからいただいた貴重なご意見・ご助言は、本学の基本理念や使命・目的の更なる実現に向け、今後の教育研究等の改善に役立てる所存です。

最後になりましたが、ご多用にもかかわらず、本学のために労をいとわずご協力いただいた外部評価委員各位に心より感謝申し上げます。

令和6年3月

十文字学園女子大学
学長 志村 二三夫

目 次

I 外部評価委員名簿

II 外部評価委員会による評価

III 参考資料

1. 外部評価委員会規程

2 外部評価委員会議事概要

①第 19 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要 (案)

②第 20 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要 (案)

I 外部評価委員名簿

【令和4年度】

氏名	職名
アキタ キヨミ 秋田 喜代美	学習院大学文学部 教授 東京大学大学院教育学研究科 名誉教授
イワナガ マサヤ 岩永 雅也	放送大学 学長
オオツカ ユウサク 大塚 雄作	京都大学 名誉教授、大学入試センター 名誉教授 国際医療福祉大学 教授
カネコ ヒロシ 金子 廣志	新座市教育委員会 教育長
キムラ マコト 木村 眞琴	株式会社ニコン 特別顧問
ササキ マサミネ 佐々木 正峰	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 前理事長 国立科学博物館 顧問、元文化庁長官、本学園顧問 ◎
スミヨシ ヒロユキ 住吉 廣行	松本大学 名誉学長・名誉教授
タナカ ヨウイチ 田中 洋一	東京女子体育大学 名誉教授 (学校法人藤村学園 評議員)
ハギノ ゲンジロウ 萩野 源次郎	大和合金株式会社 代表取締役社長

※50音順

※◎は座長

※十文字学園女子大学外部評価委員会規程に基づき、令和3年4月に委員委嘱を行った。

※職名は令和4年度のもの

【令和5年度】

氏名	職名
イワナガ マサヤ 岩永 雅也	放送大学 学長
オオツカ ニウサク 大塚 雄作	京都大学名誉教授、大学入試センター名誉教授 国際医療福祉大学 教授
カネコ ヒロシ 金子 廣志	新座市教育委員会 教育長
イケダ ジュン 池田 純	西松建設株式会社 取締役監査等委員 ソーダニッカ株式会社 取締役
ササキ マサミネ 佐々木 正峰	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 前理事長 国立科学博物館 顧問、元文化庁長官、本学園顧問 ◎
スミヨシ ヒロユキ 住吉 廣行	新潟産業大学 副学長 松本大学 名誉学長・名誉教授
タナカ ヨウイチ 田中 洋一	東京女子体育大学 名誉教授 (学校法人藤村学園 評議員) ◇
ハギノ ゲンジロウ 萩野 源次郎	大和合金株式会社 代表取締役社長

※50音順

※◎は座長、◇は座長代理（議事進行）

※十文字学園女子大学外部評価委員会規程に基づき、令和5年4月に委員委嘱を行った。

※職名は令和5年度のもの

Ⅱ 外部評価委員会による評価

(1) 総括

十文字学園女子大学の運営は総じて順調であると評価する。ただし入学定員充足の面ではさらに取り組みを充実させることが望ましい。

(2) 優れた点及び今後期待する事項

- ・地域連携活動は周辺市にも浸透しており、充実した活動といえる。実習、授業、自主活動などの複合的な取り組みが長年継続しており、地域との安定した関係のなかで学生が早期から実践的な知、総合的な人間力を育てている様子がみえる。また、課題解決型能力の開発の場としてもうまく機能していることは評価できる。今後は十文字の教育の特色としてさらに発信が強化されていくこと、活動が可視化されることを期待する。
- ・食、教育、デジタルテクノロジーと幅広い分野の学部学科があることを生かし、さらに学科間、外部との連携による大きなプロジェクトができる体制を期待したい。
- ・学生に対する手厚い支援の取り組みは評価できる。教育、就職支援の手厚さのほか、コロナ禍における種々の施策も十分なものであったと考えられる。特に就業力育成に係る取り組みが重点化されており、また成果が出ているものと思われる。引き続き取り組み結果の検証を行い、特長をさらに伸長されるよう期待する。

(3) 参考意見

- ・多彩な地域連携活動の全学的な位置づけを明確にし明文化することで、インナーブランディングの観点でも活用できるのではないかと。
- ・入学者減については社会的な要因があることを理解するものの、特に社会情報デザイン学科においては、現代的なニーズをつかんだ分野の教育である点をふまえ、学びの内容を受験生、高校側、保護者に訴求する広報戦略を工夫してほしい。教職課程、保育士養成課程においては、現場の改革が進めば状況が改善すると見込んで、定員維持をお願いしたい。
- ・入学者募集対策の取組については、他大学と比較しつつ、集中して実施すべき施策を明らかにし、全学的な共通理解のもと実施されるべきである。在学生以外に対するリサーチも強化し、総合的な分析を行うことが有効である。

Ⅲ 参考資料

1. 外部評価委員会規程

十文字学園女子大学外部評価委員会規程

平成25年9月18日規程第138号

平成25年9月18日制定

平成31年4月1日最終改正

(設置)

第1条 十文字学園女子大学（以下「本学」という）に、十文字学園女子大学大学評価規程第3条第一項第三号及び第10条に定める外部評価を実施する機関として、十文字学園女子大学外部評価委員会（以下「委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学が実施した自己点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、学外者による検証及び評価を行う他、教員評価や教育研究及び社会貢献活動全般への助言を行う。

(組織)

第3条 委員会は、若干名の委員をもって組織する。

2 委員は本学の設置目的について理解のある学外の学識経験者等から、学長が選考し、委嘱する。

3 学長は、委員を委嘱した場合、委員の氏名・職名等を、速やかに自己点検・評価委員会に通知するとともに、公表する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(外部評価の実施)

第5条 委員は、本学が実施した自己点検・評価の結果を第2条の規定により検証し、優れた点及び改善を要する事項等を意見して、評価を付す。

2 事務局は、前項に定める委員の意見及び評価を外部評価報告書にまとめ、委員会の了承を得なければならない。

3 学長は、前項に定める委員会の了承後、外部評価報告書を自己点検・評価委員会に報告する。

(事務)

第6条 委員会の事務は、企画評価部企画評価課が行う。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、学長が別に定める。

2 各部局が実施した自己点検・評価の結果についての外部評価は、この規程を準用し、部局毎に行う。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、自己点検・評価委員会の議を経て、教授会に報告しなければならない。

附則

1 この規程は、平成25年9月18日より施行する。

2 第4条の規定にかかわらず、この規程の施行後、最初に委嘱される委員の任期は、平成27年3月31日までとする。

附則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2. 外部評価委員会議事概要

①第 19 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要（案）

日 時：令和 5 年 3 月 29 日（水）14:00～16:35

場 所：7 号館 6 階会議室および Zoom ウェビナーでの開催

出席者：81 名

<外部評価委員> 佐々木委員（座長）、秋田委員、大塚委員、金子委員、木村委員、住吉委員、田中委員、萩野委員

<法 人> 十文字理事長、十文字副理事長、岡本法人本部長

<大 学> 志村学長、綿井副学長兼学長補佐、安達教育担当副学長、星野地域連携推進センター長、本間事務局長、井上企画評価部長（司会）、
榎本企画評価部次長、瀬川企画評価課長、鈴木企画評価課員

<陪 席 者> 学科長、自己点検・評価委員、事務局の部長・次長 他

冒頭、志村学長より開会の挨拶があった。

1. 第 18 回外部評価委員会議事要旨(案)について

佐々木座長から第 18 回外部評価委員会議事要旨（案）について確認があり、承認された。

2. 令和 3 年度外部評価報告書（案）について

佐々木座長から令和 3 年度外部評価報告書（案）について確認があり、承認された。

3. 第四次教育体制改革及び三つのポリシーの改定について

安達副学長から、第四次教育体制改革、入学定員の改定（令和 6 年度）、三つのポリシーの改定について説明があった。続けて、意見交換を行った。

4. 地域連携活動報告について

星野地域連携推進センター長から地域連携活動報告があり、意見交換を行った。

退任予定の委員から挨拶があった後、十文字一夫理事長より謝辞があった。最後に事務局から次回の委員会についての事務連絡があり、閉会となった。

以上

②第 20 回十文字学園女子大学外部評価委員会議事概要（案）

日 時：令和 5 年 9 月 8 日（水）13:30～15:25

場 所：7 号館 6 階会議室および Zoom ウェビナーでの開催

出席者：63 名

<外部評価委員> 佐々木委員（座長）、田中委員（議事進行）、池田委員、岩永委員、大塚委員、金子委員、住吉委員、萩野委員

<法 人> 十文字理事長、十文字副理事長、岡本法人本部長

<大 学> 志村学長、綿井副学長兼学長補佐、安達教育担当副学長、今井募集入試担当副学長、本間事務局長、井上企画評価部長（司会）、
樫本企画評価部次長、瀬川企画評価課長、鈴木企画評価課員、遠藤企画評価課員

<陪 席 者> 学科長、自己点検・評価委員、事務局の部長・次長 他

（以下、敬称略）

冒頭、志村学長より開会の挨拶があった。

1. 第 19 回外部評価委員会議事要旨(案)について
議事進行の田中委員から第 19 回外部評価委員会議事要旨（案）について確認があり、承認された。
2. 令和 4 年度 自己点検・評価報告書（案）について
綿井副学長から令和 4 年度自己点検・評価報告書（案）について説明があった。委員からの報告書への意見については、事務局あてに後日メールでの送付を依頼し、取りまとめることとなった。
3. 令和 6（2024）年度からの教育体制について
安達副学長から令和 6（2024）年度からの教育体制について説明があり、意見交換を行った。
4. 令和 6（2024）年度の入学者募集について
今井副学長から令和 6（2024）年度の入学者募集について説明があり、意見交換を行った。

最後に事務局から次回の委員会についての事務連絡があり、閉会となった。

以上